

精華町教育委員会会議録

平成28年（第10回）

1 開 会 平成28年10月27日(木) 午前10時00分
閉 会 平成28年10月27日(木) 午前11時15分

2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長

3 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長
山崎学校教育課主幹

4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第10回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成28年第9回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】 ・特になし

【採 決】 ・全員承認

(3) 教育長報告事項

中学校における2学期制の問題について、学期制の在り方についての懇談会を設置したいと考えている。

2学期制を取り入れた平成16年度から5年経過した平成21年度に一度懇談会を行っており、その当時のまとめとして、小学校3学期制、中学校2学期制の現行制度を維持することが適当であるが、中学校が夏休みの前倒しをし、秋休みを6日間取っていることについて、見直しの検討が求められている。

その内容に基づき、現在に至っているが、これまでの間、様々な変化が

全国的にあったと思う。例えば、平成14年時点では2学期制を導入するような動きが非常に広まったが、今度は逆に撤退の動きが出てきているということ。そして授業時数の確保というのは、学習指導要領との関係で学校においても非常に大きな課題であるが、教育環境の整備が進んでおり、授業時数の確保のために、例えば夏場の暑い時に授業をする事も可能な状況が全国的にも出てきた。

そういった中で、8月後半から授業を行う学校が増加しており、例えば、山城地域の中でも相楽地域以外では、夏休みの後半のところから授業を始めている実態がある。さらに、小学校の問題として次の学習指導要領の改訂が平成30年度に行われるが、その中で導入される外国語活動の授業時数をどう確保するののかとの問題が出てきている。こうした諸々の課題により、大きな変化が出てきたという事である。

そういった変化を踏まえ、改めて学期制の在り方について、各学校のPTA、教務主任、校長会からも出席頂き、懇談会を設置したいと考えている。

今後のスケジュールについて、11月に第1回目の会議を開催、今述べたような状況を説明し、毎年度検証してきている成果や課題について、論点整理したものを示して議論を行う予定。12月下旬に2回目の懇談会を開き、様々な意見交流を行うこととしている。

その後、パブリックコメントを経て、2月中旬に3回目の懇談会を開き、最終の意見集約とまとめを行いたいと考えている。

方向性については、町長と当然意見交換すべき課題であると思うので、総合教育会議で議論していただき、3月議会に報告できればと考えている。

(4) 諸報告

教育部長 1 平成29年度予算編成方針について

まず本町の財政状況について、平成27年度の町税収入決算額は約53億8,800万円。前年度比較で約2億7,500万円の増収であるが、これは企業誘致の取り組みの成果が主にあらわれた結果ということである。

次に地方債残高であるが、恐らく平成32年頃がその地方債償還のピークになるであろうと予測されるので、それに向けて今後どういう予算編成をしていくのかということになる

と思う。

予算編成のポイントとしては、「事業目的としては正しくても、過大な経費がかかっている、あるいは、最大の効果が発揮できていない事業がないかという観点での検証が必須である。特にソフト事業においては、効果が目に見える形で現れないため、事業を行うこと自体が目的になっていないか、客観的な視点からの検証が必要」とされる。こうしたことから、教育部としては、この間実施している子ども祭り、陸上運動交歓記録会、小中学校文化交流会など、こういった事業についても検証が必要ではないかという認識である。

こうしたことも受け、平成29年度の予算編成に当たっては、人材育成の視点を取り入れた提案型の予算編成、予算作成の指示が来ている。

教育部長 2 第2回総合教育会議について

日程は11月下旬から12月上旬で調整中。

内容は、学校訪問を終えての意見交流ということで、この間の学校訪問で費用が伴う課題など、平成29年度予算編成に向けての意見交流になるかと思われる。特に昨年については打越台等を見ていただいた中で予算化されたという事もあり、今回も様々な視点から意見を交流出来ればと考えている。もう1点は、学力向上、不登校、貧困対策への取り組みの状況など、大きくこの2点について総合教育会議のテーマとしたい。

総括指導主事 1 生徒指導報告について1

(1) 小学校について

小学校6年生の女子児童が家からお金を持ち出し、友達と使ったという事例があった。友達が使った分については返金し、保護者間の謝罪も済んでおり、指導は終わっている。

不登校については、夏休み明けという事で7月の8名に対し12名と増加、9月に入り学校行事等や暑さ等の関係で欠席の子が若干増えた。

(2) 中学校について

生徒同士の喧嘩のようなトラブルとの事で2件聞いている。
不登校については、7月の21名から増加し、24名という報告であった。7月に頑張った子どもたちが、9月の学校行事等で息切れした部分があるのではとの事である。

総括指導主事 2 山城地方駅伝大会の結果について

10月15日に山城地方の駅伝大会があった。精華中学校の男子が5位となり、京都府大会に出場をすることとなった。残る2校についても20位、35位と健闘した。

女子も同日に実施された。29位、34位、36位と健闘してくれた。

総括指導主事 3 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査の結果を、12月から3か月に渡り、広報「華創」と、ホームページに掲載する。

小学校については、全教科においてバランスよく全国、京都府平均を上回っており、基礎的な部分については定着しているのではないかと読み取れる。

中学校の状況については、国語、数学とも好調で、全国、京都府平均を大きく上回っている。学習状況のグラフからは、精華町の子どもたちは復習よりも予習を一生懸命やっているという結果が顕著に表れた。また設問から精華町の授業では、早くからアクティブ・ラーニングに取り組んでいるという事がグラフから読み取れる。

各教科、国語・数学の全国との比較で特に正答数の分布比では、非常にばらつきが見受けられる。特に数学については、低位層にも多く分布しており、基礎基本の定着はさらに大切になるかと思う。

普段一日どれぐらい家で勉強しているかという部分で、中学校では、3時間以上勉強している生徒が37.7%と、全国と比べ大きく上回る数字が出てきた。小学校については2時間以上学習している児童についての割合を載せているが、これらは、塾も含めての時間である。

学校教育課長 1 平成28年度第19回精華町小中学校文化交流会について

今年度についても、11月8日に、けいはんなホールで小中学校文化交流会を開催する。時間があればぜひ来場いただきたい。

学校教育課長 2 「和食の日」の取り組みについて

昨年、11月24日が「和食の日」とのことで、学校給食を通じて和食を普及させるという取り組みを本町の5小学校も行った。今年についても、11月24日の献立を「すまし汁」に設定し、日本人の伝統的な食文化である「だし」について、給食の時間に全校統一した形で指導していきたいと考えている。

学校教育課長 3 スクールヘルパーの表彰について

10月18日火曜日に、京都府公館で、京都府交通対策協議会交通安全功労等表彰があり、積極的に登下校の見守り等を行っていただいている精北小学校スクールヘルパーが団体表彰を受賞された。団体は現在25名で活動されており、日々、子どもたちの見守りに取り組んでいただいていたの団体表彰ということで、ありがたく思っている。

生涯学習課長 1 子ども祭りについて

10月15日、晴天に恵まれ開催することができた。昨年度は年度末に実施した関係で参加者が1,100名と少なかったが、今年度は1,500名の参加をいただいた。しかし、以前のように2,000人を超える参加は見込めず、今後、子ども祭りについても内容等、あり方等について見直しが必要な事業になってきている。

生涯学習課長 2 精華マラソンについて

せいかマラソンを11月6日に実施予定である。昨年は443名の参加であった。ジョギングと3km、5km、10km、それぞれ距離別に分かれ、むくのきセンターを出発、ゴールとして実施する予定である。内容については、一部、コースが変更した部分があり、それによりスタート、ゴール地点が若干移動している。そのほか、「こころ」や「ふたば」等の店舗が協力して物販を行う予定。

生涯学習課長 3 町民体育大会の今後の在り方について

9月議会の予算決算常任委員会において、決算内容について審議いただいた。見直し事業について、重点的に審議される事業の中に、生涯学習課所管の生涯スポーツ振興事業である町民体育大会の件について審議いただいたところである。

内容については、参加自治会が減ってきているとの指摘を受け、点数での評価が、100点満点中46点という見直し事業の中では最低の評価であった。議会等では出来るだけ参加しやすいような形を取っていくといった答弁もしているところであり、今後については、体育協会と相談しながら、どういった内容が望ましいのか、詰めていきたいと考えている。

生涯学習課長 4 精華町文化協会主催のサークル展示会

今日から交流ホールにおいて、精華町文化協会主催のサークル展示会を開催する。今日から10月31日までの間、筆まごクラブ、せいかペン字クラブ、水彩画サークル愛ちゃんというサークルが前期サークル展示会を行っている。

【委員の意見等】

伊藤委員長 2学期制の問題については、重みのある内容であるが、懇談会では変化を求めた形での意見交換になるのか。

太田教育長 自由に意見交換してもらおうと考えている。事務局としては、エアコン設置を来年度から中学校でまず実施する目途が立ち、最大の課題であった授業時数の確保も期待できることから、学期制について改めて広く意見を求めながら議論を進めて行きたいと考えている。

伊藤委員長 2学期制のメリットもデメリットもあるが、小学校は3学期制、中学校は2学期制という問題に対し他からも問い合わせがある。どちらかに統一すべきであるし、統一するなら3学期制が理にかなっていると思う。

中谷委員 小・中で学期制が違うというのも不自然な形であるので、どちらかで統一しないといけない。統一の仕方は3学期制が望ましいかなと思う。

蓑毛委員 大学であれば前期・後期という事に違和感がないが、小学

校・高等学校が3学期制であるなど、2学期制のメリットがデメリットと比べ、どうかというところをもう一度議論すべき時期に来ていると感じる。エアコンが導入されれば夏場の猛暑でも学習が可能となる。そうなれば3学期制のほうがふさわしいのではないか。

細川委員 保護者からもかなり要望が高まっているのは間違いないし、クラブ活動においても今は不利であると感じており、3学期制については特に問題ないかと思う。

太田教育長 実施時期については、ある程度、猶予期間を置いたほうが良いと考えている。また、夏休みを短縮することについての是非でどのような意見が出されるだろうか、注目したい。

細川委員 京都市内については、夏休みが短縮されている状態で、もちろん高校や、場所によっては小学校でも同様の対応と聞くので、その現状を見れば、以前と同じように夏休みを短縮することについては、特に問題ないかと思われる。エアコンが導入されるのも大きいと思う。

伊藤委員長 懇談会や総合教育会議において首長も入った形での協議を進めていくのは大いに結構であると思う。

中谷委員 子ども祭りの件で、見直しという話があったが、事務局ではどう考えているのか。

教育部長 事業の廃止、存続、統合など、まだ具体的に出ていない。現在、社会教育委員会、校長会、教頭会の中では、5項目程度の事業を挙げている。特に子ども祭り、小中学校文化交流会、陸上運動交歓記録会のバス代が高速道路での事故等を受け全国的に値上がりしており、費用対効果についても十分検討する必要がある。これまでアンケート等で検証してきたが、今後、具体的に関わっている教職員も含め各委員から意見をいただく段階である。それぞれの事業をどのように検証し、どのように今後見直しをかけていくのかというまだ入り口の段階である。

中谷委員 子ども祭りにかかる巡回バスの利用について、何人乗車したのかを把握されていると思うが、どうであったか。

生涯学習課長

懸案されている南部地域、光台地域からどれだけ来ているのかを検証したところ、多く利用されているとは言えない状況であった。教育委員会で所管している小中学校文化交流会との統合や、せいか祭りの中に子ども祭りの部分を設けて、その目的が達成できるかどうか等、今後の検討課題であると考えている。11月7日に第4回子ども祭り実行委員会で議論する予定である。

(5) 後援関係

9月から10月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数13件、学校教育課関係は1件、生涯学習課関係が12件、うち社会教育係関係が10件、図書係は0件、社会体育係関係は2件。

(6) 11月の行事予定

(7) 閉会

委員長が第10回教育委員会の閉会を宣言。